

発行者 香川自治会広報委員会
印刷所 (有)スエカネ印刷

10・11年度評議員おめでとう

新組長会議が1月18日(日)に自治会館で開かれた。

各町内会ごとに、組長の仕事についての説明があった後、評議員の選出を行ない、次のようにきまった。

◎第一町内会

- A グループ 高須義章
- B " 阿部 満
- C " 坂井信子
- D " 森岡史良
- E " 安江利一
- F " 鈴木直岐

◎第二町内会

- A ブロック 高橋猛 北原常明
- B " 菊田兼重
- C " 宮崎順一郎

◎第三町内会

- A ブロック 脇 孝
- B " 大場 悟
- C " 岡本房男
- D " 濱田健三
- E " 松本英一
- F " 小林 一

◎第四町内会

- A ブロック 菅野秀男 湯川章一 井上雅美
- B " 杉浦純一 高橋 修 宮本準司
- C " 曾倉正二 熊沢政吉

自治会館の利用のしかたについては、自治会会員名簿の自治会館運用細則に詳しく書かれていますので、ご覧下さい。

管理人の久保さんに申し出て、使用する団体の責任者が希望を伝えて、使用許可を得て下さい。

申し込みは使用5日前までです。使用ができる者は、会員。ただし、会員が使用する者は、(1)会員の文化の向上、(2)福祉の増進を図ること、(3)会員相互の親睦を図ることに使用する

ことを目的として使用する時は、会員以外の人でも使用できる。また管理者が特に承認した時は使

自治会館の利用のしかた

使用料金は会館運用細則を参照。駐車料など不明の点は、管理人に聞いて下さい。

なお使用後は、戸じまり、電気、火の元に注意し、掃除をすること、ゴミや茶殻などは持ち帰ること。椅子や座布団などは所定の場所におくこと。特にタバコの火には気をつけて下さい。

寿クラブの新年会

1月18日(日)午前10時から、借楽荘で、恒例の香川寿クラブの新年会が行なわれました。バス3台に分乗して、80名の方が参加しました。

亀井義雄会長の挨拶に始まってにぎやかに演奏会が開かれました。本間アキさんの「依積み唄」の踊りを皮切りに、「武田節」「槍鏢」「松づくし」「安来節」など10曲が踊られ、その間に柳澤宗一さんの「しのび宿」、他に「祝酒」「君忘れじのブルース」など歌が20曲、次々に歌われて、和やかな雰囲気でした。フィナーレは、全員で「好きになった人」を演じてお開きとなりました。本当に楽しい一日でした。



寿クラブの新年会

祈年祭行われる

諏訪神社では、2月17日(火)午前10時から例年通り祈年祭が行われました。

五穀豊穣を祈り、一年の安全を祈願する行事です。式は熊沢晶神官の祝詞奏上に始まり、参列者の玉串奉奠など滞りなく進められました。

田んぼや畑が失なわれていく現状では、五穀豊穣祈願もピンと来なくなつたかもしれません。古代から行われたといわれます。



祈年祭

国家の安穩、村里の平和を祈る伝統的な神事です。

「ゴミのネット」を配布



ゴミにかけられたネット

衛生委員会では、ゴミの収集所で使うネットを、各町内会に二セツトずつ配布しました。

ゴミが鳥につつかれて、あたりに散乱したり、猫などが食べちゃらかして汚さないようにと、掛けられたものです。

近頃はこのネットも盗まれることがあるそうで、紛失しないように、保管をお願いしたいと、衛生委員の方は話されました。

「その時」に備えよう

香川公民館で開催

香川公民館では、かがわ暮らしの講座「その時」に備えよう！

阪神・淡路大震災に学ぶを、1月17日(土)、1月24日(土)、2月14日(土)の三回に分けて開催した。

第一回は、「地震を知ろう」―地震のメカニズムと南関東・県西部における地震活動の現状―を、

文教大学教授で、NHK解説委員の伊藤和明氏が話された。

地震はどうして起るか、震度とマグニチュードの違い、北米・ユーラシア・フィリピン・太平洋の四つのプレートについて説明。

現在最も注目されているのは県西部地震である。これまでは60年周期で地震が起きていたのに、ここは関東大震災から75年たっている。だから黄信号で注意すべき所だ。

「その時」に備えよう！

第二回は「女たちの阪神大震災」

―被災時からの思いを語り継ぐ―と題して、震災の時に兵庫県西宮市に住んでいたルポライター猪熊弘子氏の体験談。マンション住居だったが震度7の地震は突然「ドン」ときて目の前が真白になり凄

い衝撃だった。ラジオ、懐中電灯、水の汲み置きは役に立った。風呂水は捨てずにおくこと、入浴剤は入れない方がよい。家具は何かクッションになる物を入れる。転倒防止具をつけても壁ごと取れてしま

う物が多かったもので、もっとしっかりした物にした方がよい。敷物も落ちて割れる物には、クッションになる物の方が被害が少ない。

黒いビニール袋はゴミ入れ、トイレ代りにもなり役に立った。キャンプ用折り畳みポリタンク、ホットプレートも便利。電気の復旧が早かったのが役立った。カセットコンロも用意すること。避難所は事前に確認しておくことが大事だ

し、本当に使える所を考えること、障害者対策を立てておくこと。学校だつて災害をうけるのだから、はたして安全かどうか。救援物資は不用品処理ではなく被災者の立場にたつて、実際使える物を送ってほしい。防災は日常の街作りである。ネットワークが大事な事を強調された。

第三回は、防災アドバイザーの山村武彦氏が、「震災は我々に何を教えたか」―今我々は何をなすべきか―を具体的に話された。

防災訓練は避難所へ行って消火訓練等をやるのではなく、自分たちが戦わなければだめだ。みんなが行ってしまったら、誰が老人を助けるのか。自分が死なないように準備をしておき、けがをしないように生きることがマナーだ。

天井に火が燃え移るまでに、家庭用の消火器で消す。防火水槽も使えるように整備しておく。風呂水をとめ、バケツを傍に置く。火を出さないことが大事だ。地震↓身を守れ↓火を消せ↓ということだ。

(1)頭・首筋を守ること、(2)火を燃さないこと。どんな大きな地震でも一分だ。火災は五分以内で消すこと。「火を消して下さい。火を使わないで下さい。ガスの元栓を締めて下さい。」と近所に声をかけ

る。具体的に声を出すことによつて心が落ちつく。ローソク、電気のスイッチも使わないこと。もれたガスに引火して火事になった例がある。窓や入口をあけてガスを出すこと。向う三軒両隣り、助けあうことが大事だ。「隣りでは声がしない、おかしい。探そう。」

と災害に立ち向つてゆくのが防災訓練だ。自分の荷物に懐中電灯、ラジオ、家族との連絡方法等を書いた物を入れておくこと。プッシュホン、10円玉、テレホンカード

は災害の時に使えないので、伝言センター171にかけること。自分がどこにいるか、何を伝えるか、いざという時に備えておき、家族同士の連絡をとること。「災害時は171」を覚えておき、伝言センターを活用すること。非常食や飲料水

は5日分用意することなど、実際に即した有益な講演だった。

西久保の妙運寺で 帰山式



離垢の水の行

2月16日(月)午前10時半から西久保の日蓮宗妙運寺(大倉俣住職)で、ご長男の大倉啓伸上人の大荒行成就、帰山報告式が行われた。11月上旬から2月10日までの100日間、千葉県中山の法華経寺の道場に籠り、午前3時起床、午後11時就寝、雑炊をすすりながら

題目を唱え、水垢離をして修行に励むというきびしい生活だったとか。この間一切面会謝絶だそう。たくさんさんの幟旗や太鼓をたたいて題目を唱える檀信徒の方たちに迎えられる、白装束の10人の上人様が行列して山門に入る。七面堂で読経の後、ふんどし姿になり本堂前に用意された10個のこもで掩た大樽の冷水を、お経を唱えながら桶ですくい、頭の上からぶぶとこぼって身心の汚れを去る。水行を行って水しぶきが辺りに飛び散ると見物人から感嘆の声がもれた。

千葉へ出発する時に剃った頭は帰山した時には、髪もひげも伸びて面変わりしてしまっただろう。辛苦に耐えて荒行を成就された若い上人様たちが、神々しく思えた。★**美化キャンペーンを**終えて★各町内会で必ず問題になっていた

るゴミ。衛生委員になって初めて町内会区域を廻り、缶のポイ捨てやゴミが散乱して「どうしてこんなに汚いのか」と思う二年でした。しかし子供会の駅前清掃など、子供の頃から「花を大切にネ」とか「ゴミを散らかしたらいけないネ」など、大人が教えることも必要だと痛感しています。役員任せでなく、やはり人としての責任を持って、ゴミだけでなく、子育てや日々の生活を送るうえで、貴重な体験ができ感謝しています。この二年間、本当にいろんな人と出会い、とても楽しい委員活動ができました。次期役員の方にも無理をせずに、マイペースで活動して頂きたいと思っています。有難うございました。(竹牟礼)

未来に誇れる町に 香川地域の衛生委員になって、はや一期(二年)を間近に控え、美化は一進一退の現状です。二月八日、第三町内の美化キャンペーン終了後、第一町内も三人の方と回りました。その二、三日後にもう道路のあちこちに空缶が投げ捨てられているんです。一部の人だけでなく、一人一人の地域をきれいに守ってゆこうという意識が大切ではないかと思えます。私もやる側に立って分った事、それはこの地域の中に自分も住んでいる事、これからの意識を持ち続けて行きたいと思えます。また次の世代の子供達に、住み良い香川を誇りに思ってもらえるよう、私達が心して行かなければと実感する次第です。(真野)

雪にも負けず ボウリング 2月15日(日)雪の降る中、ボウリング大会が行われました。この大会も本年度で四回を迎えました。雪で参加人数が減るのではと心配しましたが、申込60名中、不参加は4名だけで、皆さんの熱意が感じられました。始球式は自治会評議員議長の熊澤政吉さんをお願いし、いよいよ試合開始です。近所の人、知り合い、友人等で談笑しながら試合が進んでいくうち、何レインの誰がハイスコアを出しているとか、雑談しながら終りに近づきました。本年も熱戦をくりひろげる中、優勝者は男子綿引和男さん、スコア362点、女子沢村和子さん298点、子供の部は奥田ナミさん230点でした。表彰式並びに飛賞は熊澤自治会長から賞品が授与されました。このボウリング大会をもって本年度のふれあい委員会の行事は終りました。会員皆様方のご協力、ありがとうございました。

来年度もふれあい委員会の行事に多数ご参加下さるよう、お待ちしております。(阿部利昭)

熊沢幸一さんが 演歌を作詞作曲

元自治会長の熊澤幸一さんが、平成5年5月から書きためた詞に曲をつけ、歌手の鈴木康夫さんが歌って、カセットに収録しました。

◎平成5年 「異国に萌えて」「彼岸花」「遠き落日」「もがり笛」

◎平成6年 「ああ、今は無き東部62部隊」「ありぢごくの歌」「奴隷のトイレの歌」「青春讃歌」「ブレンドのたわごと」「かるがもの親子」

◎平成7年



熊澤幸一さん

「歓喜の地平線」「雨蛙の自由学校」「みの虫さん、今日は」「眩しき木もれ日」「百姓ソング」

◎平成8年 「きらめく梢」「一人旅」「六弁花」「マイシヨールの君」「最上川エレジー」「浮れ天国」

◎平成9年 「ジョーアと一緒」

など、20曲以上作詞・作曲、テープに収録された。熊澤さんにインタビューをしてお話を伺いました。

――作詞の動機は？
俳句からきています。朝日新聞に投稿した。
―― 熊澤さんとのお話、
―― 熊澤さんとのお話、
―― 熊澤さんとのお話、

ふと思いついて懐かしい。懐しいだけなく糸の感触が生きている。』という講評をうけ、刺激されて更に句作に励んだところ、今度は中村草田男先生に選句され、また新聞に掲載され、これから俳句に興味を覚え、たくさん句を作ろうになり、句集も発刊しました。

―― 熊澤さんとのお話、
―― 熊澤さんとのお話、
―― 熊澤さんとのお話、

気骨のある大人に 原田信子 二十数年振りの電車通勤になっ

てから三年が過ぎる。相模線、東海道線、根岸線、根岸線を乗り継ぐ。丁度、一年くらい前。座席に大きな荷物を置き、若者が二人が寝そべってぶ厚いマンガ本を読みふけている。二駅、三駅と混雑を増す車内に気付かないのか気にしないのだろうか、ボックス席を占領したままの状態。周りにいる乗客は無関心な様子。私も注意する勇気が出ずに苦々しい思いを抱いて下車した。不作法な女の子がしばらくの間気に掛かった。春休みや夏休みには車内で大声を出したり、ドタバタと席を移動して騒ぐ子供たちにも出会う。「静かにしろ。公共の乗物の中だぞ。」

学校の可変性

香川小学校校長 濱田勇二

「説明して下さい。」
「これは縄文時代の食べ物で、ど
んぐりで作ったクッキーです。」
「説明をお願いします。」

「では、その椅子に腰をかけて下
さい。私たちは水の汚れについて
調べました。ここにある水は千の
川・清水谷・水道などの水です。
どれがどれか分りますか。」

一月三十日に行われた香川小学
校の研究発表会の六年五年の授業
風景である。ポスターセッション
と呼ばれる授業形態で、子どもが
調べ、それを他の子へ伝えていく
のである。

六年は歴史について、五年は清
水谷を通じた生物と環境について
生活体験を通しながらの学習であ
る。四年は伝承遊び、三年は群読、
二年は手作りおもちゃ、一年はオ
ペレッタ。

ふだんの授業は、勿論クラスご
とに昔と変わらず一斉授業をやる
のだが、今回の研究は、クラスと
いう枠をはずして、学年単位で研
究に取り組んでみた。

そうすると、教師のエネルギー
が寄せ集まり、知恵もふくらみ、
子どもが楽しめるもの、おもしろ
い、やってみようというアイディ
アが出てくる。すると子どもの方
も、あれがやりたい、やってみた
いという選択ができ、興味や好奇
心を持ちながら、最後まで取り組
む結果となる。

こういう授業の在り方は、多様
化する現代、ますます必要となり、
子どもの自主性や主体性を伸ばす
重要な位置づけにもなる。

また、本当にありがたいことは、
それぞれの学年の要請に応じて、

大勢の地域、保護者の方々
が指導者として、お手伝い
として各学年を支援してく
れたことである。そしてそ
れらのの方々も、子どもと接し、
嬉しそうにして真剣な様子で、
子どもや教師の中に入ってくれた
ことである。

学校が変わる、とはよく言われ
るフレーズであるが、本質的には
子どもへの授業の内容や在り方か
ら変わるような気がしている。

子どもがたのしいな、おもしろ
いな、やってみようという意
をどこまで汲み取ることが出来る
かが、学校が変わることであり、
それは地域や保護者の方の理解と
協力なしには達成できないこと
もあろう。

健康に生きる

昨年の12月20日、映画監督の伊
丹十三氏が、飛び降り自殺した事
件が起りましたが、納得できない
突然の死に、ファンの方や監督の
方々は、なぜ? どうして? と皆思
ったのではなからうか。

せっかく親からもらった身体を
どうして大切にしないのだろうと
私は思いました。
何か一人で悩んでいて、突発的
に身を投げてしまったのだろうか、
疑問に思うことばかりである。

女優の宮本信子さんを妻として、
女優として、母親として尊敬して、
女の良い夫婦でさえも、心の中ま
では入れない何かがあったのだろ
うかと思つた。

人間は健康であれば何でもでき
る。健康に生きるということが、
どんなに大切か、小・中学生の「い
じめ」、「自殺」にしても、精神的
苦痛が食欲を失ったり、眠れなく
なったりして、健康を害して悪く

するパターンで、生きるといふ喜
びが失われている世の中になつて
しまつてゐる。子供ばかりではな
い。サラリーマン、自営業の方、
老人の方。それぞれに生きていく
のに四苦八苦しているはずだ。
いかに健康に生きるかというこ
とを考えて、人生を楽しく生きて
みたい。命の大切さ、尊さを、も
っともっと真剣に考えるべきでは
ないだろうか。(香沢)

水鳥のいる街

飼育者は神尾勇さん

梅の花も満開となり、水ぬるむ
あたたかな春となりました。
ポカポカ陽気に誘われて、町内
を散歩しました。

第二町内の水道みちを小出川ま
で行くと、右側にあひ鴨やアヒル
が気持よさそうに泳いだり、羽を
休めて日向ぼっこをしていました。
見れば巣の中に卵が一つポツンと
ありました。

子供たちも可愛い鳥に餌をや
ったり、じっと様子を眺めたりし
て遊んでいました。
いったいどなたが飼っているの
かしら? と、日頃疑問に思ってい
ましたが、帰り道で庭にパン屑を
いっぱい乾していらつしやる方が



餌を乾かす神尾さん

あり、神尾さんと分りました。
さっそくインタビューしました。
◆いつからお飼いなつていらつ
しゃるのですか。――
4年前からです。

◆飼いはじめた動機は。――
初め鯉を飼つたのですが、水不
足でダメでした。たまたま知人
からあひ鴨のつがいをもらいま
した。それがこんなにふえて、
今では全部で18羽います。
◆卵がかかるのはどの位かかり
ますか。卵をかえす時のご苦労
は。――
卵はみんなで突つついて殺して
しまうので、そつと拾つて別に
して育てます。どれが親か分ら
ないのは死んでしまいます。
◆餌はどの位食べますか。――
一日12キロです。知りあいのパ
ン屋さんで買ってきます。

◆なかなかたいへんですね。――
終始笑顔で答えて下さいました。
突然の訪問に快く応待して下さい
ました。神尾さんに感謝しました。
帰る時には、お孫さんがパイパ
イと手を振ってくれました。

私達の住んでいる香川の街の中
にも、こんなすてきな所があるな
んとすばらしいですね。
自然を大切に、生き物をかわ
いがることを、子どもたちに伝え
てゆくことも、私達大人の大切な
役目ですね。

スチール缶を 見直して!

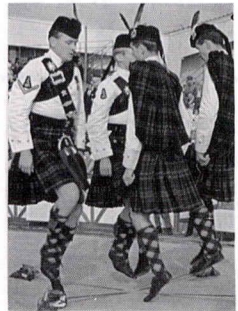
1月30日、市民文化会館に於い
て、「ごみと資源を考える市民の
つどい」がありました。

市長の挨拶で始まり、環境指導
員10名と、資源回収団体1団体へ
の表彰式があり、次に、あき缶処
理対策協会専務理事、佐藤旭生講
師による「身近なりサイクル」使
用済みスチール缶の再資源化につ
いての講演がありました。

「スチール缶の特徴について」
①リサイクル率が高い。

スコットランドは、気品の高い
フォーク・ダンスの宝庫といわれ
ている。音楽の中で、カミング・
スルー・ザ・ライ(故郷の空)。
オールド・ラング・サイン(蛍の
光)：スコットランド人が発音す
ると、サインがザインときこえる
そうである。これらの民謡は日本
人の誰にも知ら
れてゐる。「故
郷の空」は日
本人向きにリ
ズムをかえて
ある。今日の日
本人の子供は
リズム感がとて
もよくなつてい
るから、つまらないかもしれない。
スコットランドの民謡は五音階
でファとシイがない。日本では明
治までヨナぬきだったから親しみ
やすかつたと思う。

スコットランド 音楽とおどり



フォークダンス

ハイランドダンスは、スコット
ランドの代表的な踊りで、ワット
ンや、キルトをつける。キルトと
②磁石で容易に選別できる。
③1600度の高温で溶解され不
純物を分離しやすい。
④何度リサイクルしても品質は変
らない。
⑤いくら集めても用途はある。
⑥省エネルギー、低コストで作れ
る缶である。
⑦食品容器として、20年の歴史が
示す安全性(鉄分は身体に有用
な金属である。)

⑧丈夫で殺菌工程で変形しにくく、
輸送中の疵入りが少ない。
現在スチール缶は、年間250億缶
1人当り200缶以上を消費されてお
り、企業としては、作り放しや売
り放しで済む時代は終わり、再利
用の必要性を語っておられまし
た。

①リサイクル率が高い。

というのは、タータンチェックのひ
ぎの上まであるひだスカートのよ
うなもので、男子がはく。このキ
ルトの前に腰からガマ口の親分み
たいな皮袋(スポーラン)をさげ
ている。古くは食糧入れであった。
今つけているわけは、ピョン、
ピョン爪先だちで90度開いて踊る
ので、キルト
がめくれ
あがらない
ようにとい
うことで。
下ばきをは
いていない
からだそう
である。テ

レビでカメラを下に置いたけれど、
薄暗くよくうつらないので幸いで
あった。キルトは、スコットラン
ドの軍服に採用されている。日本
には家紋があるというところ、感心さ
れるそうである。
ハイランド・ダンスは、世界中
で愛好者が多いとのことである。

ルーツを辿れば、ナポレオン一
世が、遠征のための食糧保存法を
募集し、ニコラス・アペールが、び
んに食糧を詰め加熱、密閉する方
法を発明した。それが缶詰の元祖
で、錫メッキしたスチール缶に最
初に詰めたのは英国です。

日本では昭和33年ビール、34年
トマトジュース、35年炭酸飲料、
40年以後は、コーヒーや茶類が出
回り、そのうち220億缶は飲料缶で、
回収率は、ドイツ(81%)で第1位、
次いで日本(77.3%)です。すぐ
れた点が多いスチール缶ですが、
回収してもお金にならないので軽
視されがちです。原料の鉄は限ら
れた地球の資源ですから、しっか
りとりサイクルしたいですね。
歴史も学んだ良いつどいでした。

宝船作り・新倉さん



最近では見かけられないわら細工の宝船を十数年ぶりに作られた。新倉栄一さんにお話を伺いました。30年位前には亡きお父様が作っていたのを見ておぼえていたので、材料のわらは自家の物、宝船に飾る、飾り物が残っていたので作ったそうです。

御両親は昔、この飾り物などを浅草方面で調達し、稲の稲穂が出る頃に刈り取り、8月のお盆が終る頃から作り始め、100個位作り、寒川神社の売店におさめて、お正月の縁起物として売れた時代もあったと話しておられました。

辻説法 (その二)

道草坊主

学校帰りの小学生5人がゲームをしながら横並びで歩いている。後ろからきた乗用車がけたたましく警笛を鳴らしても平気である。あまりかたまった運転手が車を止めて注意すると、いぶかしい視線を送って無言のまま路肩によつていった。「全くしょうがないガキどもだ。」とつぶやいて、車は走り去った。

皆さん、どうお感じかな。わが子もゲームに夢中で、その最中は何を言っても聞こうともしない。全く困ったことです。その原因は両親にあることを考えて下さい。ゲーム機を支える前に、しっかり

しつけをして下さい。

「わが子に限ってそんな馬鹿なこととはしない。」と思うのは親心の闇で、自分の子が事件を起した時にきまってるのは「まさか、うちの子が」である。このセリフの裏返しは、親にとって一番大切な子供を何も見ていなかったことでもある。何か事が起ると責任を転化して教育や社会が悪いと騒ぎたてるが、そういう子に育ててきたのは親であることをよく理解していたければ愚僧も嬉しく思います。

地震のはなし (2)

湯川章一

地震による震度階は地震の揺れの強さであって、衝撃を感じる場所での振動の物指しであり、その単位は加速度「ガル」で表わす。気象庁では「ガル」を0から7の8段階と更に5と6を強弱に分けている。地震の大小は震源での「エネルギー」であって「マグニチュード」で表わしその規模を示している。よく「マグニチュード」と震度との混同して間違いを起しやす。

阪神大地震ではM_{7.2}と小さいが直下地震のため800「ガル」以上と場所によって大きな揺れを起している。関東大地震では400「ガル」と云われているが当時の観測体制、技術からして疑問も残ります。「マグニチュード」は1増す毎に30倍、2増せば30×30=900倍となる。M₆で広島島の原爆に値いしM_{8.5}で広島原爆の1万発に値いする」と云われている。

地震波の到達には先ず縦波(P波)横波(S波)そして表面波(レイリー波、及びラブ波)があるが地震観測でそのエネルギーの66%はレイリー波であり、残りの4%はS波とされている。地震波は地表

に到達するまで色々な層を通ることにより曲折と反射により変化するとにより曲折と反射により変化するとにより曲折と反射により変化す

共振の影響をうけ易い。しかし共振は異なる周期では起きにくいとされている。加速度は振幅と周期及び周波数の2乗をかけたもので加速度一定の条件では当然、軟弱地盤の方が振幅が大きくなり、伝ば速度は遅いもの、遠くまで到達する。軟弱地盤でその層厚の大きい処は震動の減衰が少なく、揺れが大きくなる傾向にあるようである。

木造家屋や構造物は常時、僅かではあるが揺れて居り揺れの周期には色々なものが混っている。その最も多い周波数を卓越周期と称している。一例として電車の吊り革が「バシン」「バシン」と叩きつけられる様に大きく揺れることがある。これは電車の走行時の周期と吊り革の周期が一致したための共振と思われる。地震時その建物の卓越周期に近い揺れがあると共振を起し振幅は10倍にも達することがある。共振は地震波の伝ばの始まりでなく5秒から10秒つづいてから起るとされている。しかし阪神大地震では直下地震のため共振が同時に発生した。共振により揺れが大きくなつてからでは、とても歩けた状態ではない。鉄橋や高層ビルも

俳句

茅花

平塚司郎選

長島 久江

ウインドを彩る服や日脚伸ぶ

この頃は五時を過ぎて目も明る日射が残るようになった。目についたウインドに飾ってある服も春らしい色が見られ、正に日脚伸ぶの感じがする。

児の腕に花麩のひらく雛まつり

碓 百合子

春寒の黄と白ばかり山の花

まんさく・あぶらちゃん・辛

共振の影響をうけ易い。しかし共振は異なる周期では起きにくいとされている。

加速度応答という言葉があるが地下の深い処の小さな振幅でも地表に近づくにつれ大きく振幅する。地表での加速度は地下90mの加速度の4倍にもなる。阪神大地震では深い処の地下鉄はあまり被害がなかったが、浅く「オープン」掘削した大開駅は大被害をうけた。阪神高速道路のT型橋脚は延長800mにわたり倒壊し、絶好の「カメ」の被写体となったが、これらは共振により、予測されない大きな力があらゆる角度から加わって倒壊したものと専門家は見ています。

前述の馬入川橋りょうも軟弱層による低周波と橋脚自体の固有周期が一致したか、それに近い周期で共振を起したものである。

北町道祖神から五輪塔が

1月14日、どんど焼きが行なわれた北町の道祖神前に真新しい幟が立てられた。これは毎年、行なわれるどんど焼きの時に奉納される祝金を世話人の方達が、長い間積立て、昨年作ったものである。



幟と五輪塔

独居の高齢者への宅配

独居・高齢者への宅配給食事業も間もなく七年になるうとしていきます。初めは週二回(火金)でしたが、平成八年からは、週四回(月火木金)となりました。事業主体は、社会福祉協議会で、香川の場合は香川公民館を拠点に、配食協力員の活動が続けられています。配食を希望される方は最寄りの民生委員にご連絡下さい。



配食を支える人達

訃報

平成10年

3月2日現在

樋田盛壽様 83才

第一町内会 9年12月30日

奥谷サダ子様 71才

第一町内会 32組 12月30日

菅野昭三様 66才

第一町内会 6-1組 12月30日

藤田武雄様 83才

第四町内会 21-6組 12月30日

多部田サト子様 96才

10年1月2日 6-2組

折居子ヨ様 88才

第三町内会 4-2組 1月4日

岩崎ミサ様 83才

第四町内会 31-1組 1月7日

近藤日出子様 50才

第二町内会 34-2組 1月9日

斎藤ミエ様 79才

第三町内会 23組 1月11日

今野和男様 67才

第四町内会 40組 1月12日

山路丈夫様 71才

第二町内会 20組 1月14日

松野セイ様 87才

第二町内会 41-2組 1月22日

森上ヨシミ様 85才

第二町内会 2-5組 1月29日

遠藤文雄様 82才

第三町内会 16組 1月29日

鶴田保久様 49才

第一町内会 23-2組 2月8日

武藤良治様 66才

第三町内会 11-1組 2月10日

第一町内会 27-3組 2月21日

丁寧に庭を掃きたり梅日和
庭を掃くのは常のことだが、梅が開きはじめておだやかな日和に、ふだんより念入りに掃く気分になったのがうなづける。

鮎釣のまあるき背中猫柳

藤村 球子

雑を画くおちよぼ口してあたりけり

ここよりは寺領の籬笹子鳴く

湯川 章一

春暁の黒き立木の二、三本

冬帽を深くかぶり見まぢがふ

▲選者吟

寒明けて鮭の頭の残りある

連絡先 長島久江(57)六五二五